令和5年度工事	部長	課長	担当課長補佐	係長	設計

市営河崎住宅５０Ｒ１棟長寿命化改善建築主体工事

工事場所　：　米子市河崎1737番地3

工期　　：　契約日～　令和6年10月24日

金：　　円

米　子　市

工事費内訳

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
直接工事費				
建築工事	1	式		
昇降機設備工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 ％
工事費	1	式		

工事種別内訳

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
建築工事				
新営工事	1	式		
改修工事	1	式		
昇降機設備工事	1	式		
計				

新営工事　種目別内訳

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
一般工事				
A外廊下新設工事	1	式		
Bスロープ・階段工事	1	式		
小計				
C発生材処分費	1	式		
計				

改修工事　種目別内訳

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
一般工事				
A外装・共用部改修工事	1	式		
B１階車椅子対応改修工事	1	式		
C１～４階改修工事	1	式		
D物置棟改修工事	1	式		
E外構工事	1	式		
F解体・撤去工事	1	式		
小計				
G外構その他工事	1	式		
H発生材処分費	1	式		
計				

昇降機設備工事　種目別内訳

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
A昇降機設備工事	1	式		
計				

A外廊下新設工事

名　称	数　量	単位	金　額	備　考
A1直接仮設	1	式		
A2土工	1	式		
A3地業	1	式		
A4鉄筋	1	式		
A5コンクリート	1	式		
A6型枠	1	式		
A7防水	1	式		
A8屋根及びとい	1	式		
A9金属	1	式		
A10左官	1	式		
A11内外装	1	式		
A12ユニット及びその他	1	式		
計				

Bスロープ・階段工事

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
B1直接仮設	1	式		
B2土工	1	式		
B3地業	1	式		
B4鉄筋	1	式		
B5コンクリート	1	式		
B6型枠	1	式		
B7タイル	1	式		
B8金属	1	式		
B9左官	1	式		
B10塗装	1	式		
計				

C発生材処分費

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
D1発生材処分費	1	式		
計				

A外装・共用部改修工事

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
A1直接仮設	1	式		
A2躯体	1	式		
A3建具	1	式		
A4劣化部補修	1	式		
A5仕上	1	式		
A6ユニット及びその他	1	式		
計				

Ｂ１階車椅子対応改修工事

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
B1直接仮設	1	式		
B2躯体	1	式		
B3建具	1	式		
B4内外装	1	式		
B5ユニット及びその他	1	式		
計				

C１～４階改修工事

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
C1直接仮設	1	式		
C2躯体	1	式		
C3建具	1	式		
C4内外装	1	式		
C5ユニット及びその他	1	式		
計				

D物置棟改修工事

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
D1直接仮設	1	式		
D2屋根及びとい	1	式		
D3建具	1	式		
D4仕上	1	式		
計				

E外構工事

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
E1ｺﾝｸﾘｰﾄ擁壁・縁石	1	式		
E2屋外排水	1	式		
計				

F解体・撤去工事

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
F1外装・共用部	1	式		
F2１階車椅子対応改修	1	式		
F3１～４階改修	1	式		
F4物置棟改修	1	式		
F5外構	1	式		
計				

G外構その他工事

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
G1構内舗装	1	式		
計				

H発生材処分費

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
H1外装・共用部改修	1	式		
H2１階車椅子対応改修	1	式		
H3１～４階改修	1	式		
H4物置棟改修	1	式		
H5外構	1	式		
計				

昇降機設備工事　科目別内訳

A昇降機設備工事

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
A1昇降機設備	1	式		
計				

A外廊下新設工事

科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
A1直接仮設		1	式		
計					
A2土工		1	式		
計					
A3地業	地業	1	式		
計					
A4鉄筋	躯体	1	式		
計					
A5コンクリート	躯体	1	式		
計					
A6型枠	躯体	1	式		
計					
A7防水	外部	1	式		
計					
A8屋根及びとい	外部	1	式		
計					
A9金属	外部	1	式		
計					
A10左官	外部	1	式		
計					

A外廊下新設工事

科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
A11内外装	外部	1	式		
計					
A12ユニット及びその他	外部	1	式		
計					

Bスロープ・階段工事

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
B1直接仮設		1	式		
計					
B2土工		1	式		
計					
B3地業	地業	1	式		
計					
B4鉄筋	躯体	1	式		
計					
B5コンクリート	躯体	1	式		
計					
B6型枠	躯体	1	式		
計					
B7タイル	外部	1	式		
計					
B8金属	外部	1	式		
計					
B9左官	外部	1	式		
計					
B10塗装	外部	1	式		
計					

C発生材処分費

科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
D1発生材処分費	処分	1	式		
計					

A外装・共用部改修工事

科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
A1直接仮設		1	式		
計					
A2躯体	A2躯体	1	式		
計					
A3建具	アルミニウム製建具	1	式		
A3建具	鋼製建具	1	式		
A3建具	ガラス	1	式		
計					
A4劣化部補修	A4劣化部補修	1	式		
計					
A5仕上	A5仕上	1	式		
計					
A6ユニット及びその他	外部	1	式		
計					

Ｂ１階車椅子対応改修工事

科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
B1直接仮設		1	式		
計					
B2躯体		1	式		
計					
B3建具	アルミニウム製建具	1	式		
B3建具	鋼製建具	1	式		
B3建具	木製建具	1	式		
B3建具	ガラス	1	式		
B3建具	枠・額縁	1	式		
計					
B4内外装	内部	1	式		
計					
B5ユニット及びその他	内部	1	式		
計					

C１～４階改修工事

科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
C1直接仮設		1	式		
計					
C2躯体		1	式		
計					
C3建具	アルミニウム製建具	1	式		
C3建具	鋼製建具	1	式		
C3建具	木製建具	1	式		
C3建具	ガラス	1	式		
C3建具	枠・額縁	1	式		
計					
C4内外装	内部	1	式		
計					
C5ユニット及びその他	内部	1	式		
計					

D物置棟改修工事

科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
D1直接仮設		1	式		
計					
D2屋根及びとい	外部	1	式		
計					
D3建具	アルミニウム製建具	1	式		
D3建具	ガラス	1	式		
計					
D4仕上	D4仕上	1	式		
計					

E外構工事

科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
E1ｺﾝｸﾘｰﾄ擁壁・縁石		1	式		
計					
E2屋外排水		1	式		
計					

F解体・撤去工事

科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
F1外装・共用部		1	式		
計					
F2 1階車椅子対応改修		1	式		
計					
F3 1～4階改修		1	式		
計					
F4物置棟改修		1	式		
計					
F5外構		1	式		
計					

G外構その他工事

科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
G1構内舗装		1	式		
計					

H発生材処分費

科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
H1外装・共用部改修		1	式		
計					
H2 1階車椅子対応改修		1	式		
計					
H3 1～4階改修		1	式		
計					
H4物置棟改修		1	式		
計					
H5外構		1	式		
計					

昇降機設備工事　中科目別内訳

A昇降機設備工事

科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
A1昇降機設備		1	式		
計					

A外廊下新設工事　A1直接仮設

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
遣方		1	式			別紙 00-0001
墨出し		1	式			別紙 00-0002
養生		1	式			別紙 00-0003
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0004
外部足場		1	式			別紙 00-0005
内部仕上足場		1	式			別紙 00-0006
災害防止		1	式			別紙 00-0007
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0008
計						

A外廊下新設工事　A2土工

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
根切り		1	式			別紙 00-0009
床付け		1	式			別紙 00-0010
埋戻し		1	式			別紙 00-0011
場内仮置土	建物周辺20～30m	11.5	m3			
建設発生土運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 土砂 DID区間無し 19.5km以下	102	m3			
土工機械運搬		1	式			別紙 00-0012
計						

A外廊下新設工事　A3地業　地業

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
砂利地業	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ	13.5	m3			
計						

A外廊下新設工事　A4鉄筋　躯体

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｽﾊﾟｲﾗﾙ筋	R6×100/50	300	m			
ｽﾊﾟｲﾗﾙ筋	R6×150/50	60.3	m			
異形鉄筋	SD295　D10	9.3	t			
異形鉄筋	SD295　D13	6.7	t			
鉄筋加工組立	小型構造物 -　-	16	t			
鉄筋運搬費	4ｔ車　30km程度	16	t			
鉄筋探査費		1	式			
計						

A外廊下新設工事　A5コンクリート　躯体

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
普通ｺﾝｸﾘｰﾄ	JIS A5308　FC=18　S18 粗骨材20	4.5	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	捨てｺﾝｸﾘｰﾄ　ﾎﾟﾝﾌﾟ打設 30m3/回程度　S15～S18 -　圧送費､基本料別途	4.5	m3			
普通ｺﾝｸﾘｰﾄ	JIS A5308　FC=24　S15 粗骨材20	183	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	躯体　ﾎﾟﾝﾌﾟ打設 50～100m3/回　S15～S18 標準階高 圧送費､基本料別途	183	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ圧送 基本料金	30m3以上 50m3/回未満	5	回			
ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ 圧送	30m3以上 50m3/回未満 基本料金別途加算	183	m3			
目あらし	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 壁	79.5	㎡			
計						

A外廊下新設工事　A6型枠　躯体

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
型枠	打放合板型枠B種 壁式構造　地上軸部 階高2.8m程度	1,098	㎡			
型枠	普通合板型枠 壁式構造　地上軸部 階高2.8m程度	217	㎡			
打放し面補修	B 種 ｺｰﾝ処理　部分目違いばらい	1,099	㎡			
型枠運搬費	4ｔ車　30km程度 往復	1,315	㎡			
型枠処分費		438	㎡			
計						

A外廊下新設工事　A7防水　外部

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
シーリング	種類、形状	1	式			別紙 00-0013
塗膜防水	X-1 絶縁工法 ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系　平面 表面塗装ｼﾙﾊﾞｰ	58	㎡			
塗膜防水	X-1 絶縁工法 ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系　立上り 表面塗装ｼﾙﾊﾞｰ	38.8	㎡			
計						

A外廊下新設工事　A8屋根及びとい　外部

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
硬質塩ﾋﾞ竪樋 (ｶﾗｰVP) 掴金物共	φ100	69	m			
横引ドレン	塗膜防水用　100φ　鋳鉄製	30	か所			
計						

A外廊下新設工事　A9金属　外部

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
あと施工ｱﾝｶｰ	接着系ｱﾝｶｰ　D13×500　横向き	1,279	本			
あと施工ｱﾝｶｰ	接着系ｱﾝｶｰ　M12×160　横向き	72	本			
笠木	直線　W225　アルミ	52.7	m			
笠木コーナー	形状、幅、仕様	1	式			別紙 00-0014
トップレール	アルミ後付　H250	36	m			
トップレール	アルミ後付　H150	139	m			
計						

A外廊下新設工事　A10左官　外部

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
床コンクリート面直均し	木ごて　２回	394	m²			
笠木天端ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ	金ごて 幅300	227	m			
床ﾓﾙﾀﾙ塗り	金ごて 防水下地　厚15	58	m²			
床防水モルタル金コテ仕上げ	厚30	336	m²			
壁ﾓﾙﾀﾙ塗り	金ごて 外壁　厚25	64	m²			
防水形複層塗材 E	ｺﾝｸﾘｰﾄ面　凹凸状　吹付け ｱｸﾘﾙ系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費(C-1)共	747	m²			
外装薄塗材 E	ｺﾝｸﾘｰﾄ面　砂壁状 吹付け 下地調整費(C-1)共	335	m²			
計						

A外廊下新設工事　A11内外装　外部

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ビニル床シート	ノンスリップ　厚2.5　外部用	308	㎡			
計						

A外廊下新設工事　A12ユニット及びその他　外部

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
グレーチング	細目ノンスリップ　ＳＵＳ枠付 W150×L1200×H15	4	か所			
グレーチング	細目ノンスリップ　ＳＵＳ枠付 W150×L1000×H15	6	か所			
床下点検口	600角　鍵付　ＳＵＳ	4	か所			
タラップ	後付　ＳＵＳ　FB-6×50×L400付	16	本			
計						

Bスロープ・階段工事　B1直接仮設

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
遣方		1	式			別紙 00-0015
墨出し		1	式			別紙 00-0016
養生		1	式			別紙 00-0017
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0018
計						

Bスロープ・階段工事　B2土工

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
根切り		1	式			別紙 00-0019
床付け		1	式			別紙 00-0020
埋戻し		1	式			別紙 00-0021
盛り土		1	式			別紙 00-0022
場内仮置土	建物周辺20～30m	14.4	m3			
計						

Bスロープ・階段工事　B3地業　地業

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
砂利地業	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ	17.6	m3			
計						

Bスロープ・階段工事　B4鉄筋　躯体

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
異形鉄筋	SD295　D10	1.2	t			
異形鉄筋	SD295　D13	0.3	t			
鉄筋加工組立	小型構造物 -　-	1.5	t			
鉄筋運搬費	4ｔ車　30km程度	1.5	t			
計						

Bスロープ・階段工事　B5コンクリート　躯体

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
普通ｺﾝｸﾘｰﾄ	JIS A5308　FC=18　S18 粗骨材20	2.1	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	捨てｺﾝｸﾘｰﾄ　人力打設 -　S15～S18 -　-	2.1	m3			
普通ｺﾝｸﾘｰﾄ	JIS A5308　FC=24　S15 粗骨材20	16.8	m3			
普通ｺﾝｸﾘｰﾄ	JIS A5308　FC=24　S15 粗骨材20	8.9	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	躯体　ﾎﾟﾝﾌﾟ打設 50m3/回未満　S15～S18 標準階高 圧送費、基本料別途	16.8	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	土間　ﾎﾟﾝﾌﾟ打設 50m3/回程度　S15～S18 -　圧送費、基本料別途	8.9	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ 圧送	30m3以上 50m3/回未満 基本料金別途加算	25.7	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ圧送 基本料金	30m3以上 50m3/回未満	2	回			
計						

Bスロープ・階段工事　B6型枠　躯体

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
型枠	普通合板型枠 壁式構造　基礎部 -	11.3	㎡			
型枠	打放合板型枠B種 壁式構造　地上軸部 階高2.8m程度	148	㎡			
型枠運搬費	4ｔ車　30km程度 往復	159	㎡			
型枠処分費		53	㎡			
打放し面補修	B 種 ｺｰﾝ処理　部分目違いばらい	59.5	㎡			
計						

Bスロープ・階段工事　B7タイル　外部

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
床ﾀｲﾙ (階段用ﾀｲﾙ張り)	垂れ付き段鼻　Ｉ類　無ゆう 150㎜角　下地ﾓﾙﾀﾙ別途	26	m			
計						

Bスロープ・階段工事　B8金属　外部

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
スロープ手摺	手摺：ＳＵＳ38φ2段 支柱：ＳＵＳ60.5φ	60.1	m			
スロープ手摺	手摺：ＳＵＳ38φ2段 ＳＵＳブラケット共	32.2	m			
階段手摺	手摺：ＳＵＳ38φ 支柱：ＳＵＳ38φ	2.8	m			
トップレール	アルミ後付　H250	5.2	m			
丸型ｶﾞﾗﾘ	SUS 150φ	8	か所			
計						

Bスロープ・階段工事　B9左官　外部

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
床コンクリート面直均し	木ごて　２回	67.9	㎡			
笠木天端ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ	金ごて 幅300	45.5	m			
床ﾓﾙﾀﾙ塗り	ﾓﾙﾀﾙ仕上げ　厚30	29.8	㎡			
床ﾓﾙﾀﾙ刷毛引き	厚30	43	㎡			
計						

Bスロープ・階段工事　B10塗装　外部

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｺﾝｸﾘｰﾄ保護材塗り	水性シリコン樹脂クリア	59.5	㎡			
計						

C発生材処分費　D1発生材処分費　処分

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
残土処分		102	m3			
ｽｸﾗｯﾌﾟ控除	H4	694	kg			
計						

A外装・共用部改修工事　A1直接仮設

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
墨出し		1	式			別紙 00-0023
養生		1	式			別紙 00-0024
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0025
外部足場		1	式			別紙 00-0026
内部仕上足場		1	式			別紙 00-0027
災害防止		1	式			別紙 00-0028
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0029
計						

A外装・共用部改修工事　A2躯体　A2躯体

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
根切り		1	式			別紙 00-0030
床付け		1	式			別紙 00-0031
盛り土		1	式			別紙 00-0032
場内仮置土	建物周辺20～30m	1.8	m3			
砂利地業	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ	1.9	m3			
ｽﾊﾟｲﾗﾙ筋	R6×100/50	60.7	m			
異形鉄筋	SD295　D10	621	kg			
異形鉄筋	SD295　D13	248	kg			
異形鉄筋	SD295　D16	50.1	kg			
鉄筋加工組立	RC壁式構造 階高2.8m程度　形状単純	0.9	t			
鉄筋運搬費	4ｔ車　30km程度	0.9	t			
普通ｺﾝｸﾘｰﾄ	JIS A5308　FC=24　S15 粗骨材20	11	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	躯体　ﾎﾟﾝﾌﾟ打設 50m3/回未満　S15～S18 標準階高 圧送費、基本料別途	11	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ圧送 基本料金	30m3以上 50m3/回未満	2	回			
ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ 圧送	30m3以上 50m3/回未満 基本料金別途加算	11	m3			
無収縮ﾓﾙﾀﾙ注入	試験費共　Fc30	0.6	m3			
型枠	打放合板型枠B種 壁式構造　地上軸部 階高2.8m程度	110	㎡			
型枠運搬費	4ｔ車　30km程度 往復	110	㎡			
型枠処分費		36.7	㎡			
打放し面補修	B 種 ｺｰﾝ処理　部分目違いばらい	110	㎡			

A外装・共用部改修工事　A2躯体　A2躯体

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
無収縮ﾓﾙﾀﾙ注入用型枠	両面木製　厚18	16.8	m			
目あらし	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 壁	20	㎡			
あと施工ｱﾝｶｰ	接着系ｱﾝｶｰ　D13×500　下向き	187	本			
あと施工ｱﾝｶｰ	接着系ｱﾝｶｰ　D13×500　横向き	331	本			
あと施工ｱﾝｶｰ	接着系ｱﾝｶｰ　D13×500　上向き	72	本			
あと施工ｱﾝｶｰ	接着系ｱﾝｶｰ　D16×770　下向き	8	本			
あと施工ｱﾝｶｰ	接着系ｱﾝｶｰ　D16×770　横向き	80	本			
昇降機鉄骨		1	式			別紙 00-0033
ＡＬＣパネル	厚100	50.5	㎡			
床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ	金ごて 厚張物下地	16.3	㎡			
計						

A外装・共用部改修工事　A3建具　アルミニウム製建具

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
AW-4		6	か所			
設計費		1	式			
搬入費		1	式			
取付費		1	式			
法定福利費		1	式			
建具周囲防水 ﾓﾙﾀﾙ充填	外部建具	21.2	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 15×10	42.5	m			
額縁(窓出入口)	施工手間	21.2	m			
ＯＳ塗り (糸幅300mm以下)	木部　素地B種	21.2	m			
計						

A外装・共用部改修工事　A3建具　鋼製建具

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
SD-4		8	か所			
設計費		1	式			
搬入費		1	式			
取付費		1	式			
法定福利費		1	式			
建具周囲防水 ﾓﾙﾀﾙ充填	外部建具	42.4	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 15×10	72	m			
計						

A外装・共用部改修工事　A3建具　ガラス

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
網入型板ｶﾞﾗｽ	厚さ6.8 特寸 2.18㎡以下 ひし ｼｰﾘﾝｸﾞ　清掃共	2.3	㎡			
計						

A外装・共用部改修工事　A4劣化部補修　A4劣化部補修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
施工数量調査 (外壁改修) 外壁・階段内部	打放し面･仕上塗材改修	1,818	㎡			
施工数量調査 (外壁改修) ﾊﾞﾙｺﾆｰ・階段床	打放し面･仕上塗材改修	224	㎡			
施工数量調査 (外壁改修) 基礎立上り	打放し面･仕上塗材改修	55.8	㎡			
施工数量調査 (外壁改修) 見上部	打放し面･仕上塗材改修	297	㎡			
ｸﾗｯｸ補修	Uカット　シーリング充填 可とう性エポキシ樹脂	151	m			
ﾓﾙﾀﾙ浮き補修	アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	6.1	㎡			
ﾓﾙﾀﾙ浮き補修	アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	5.2	㎡			
ﾓﾙﾀﾙ浮き補修	エポキシ樹脂モルタル充填工法 0.25㎡以下　既存モルタル撤去共	1.9	㎡			
ﾓﾙﾀﾙ浮き補修	エポキシ樹脂モルタル充填工法 0.25㎡以上　既存モルタル撤去共	13.2	㎡			
欠損部補修	エポキシ樹脂モルタル充填工法 露筋なし　0.05㎡以上	2	か所			
欠損部補修	エポキシ樹脂モルタル充填工法 露筋あり　0.01㎡以下 防錆処理共	3	か所			
計						

A外装・共用部改修工事　A5仕上　A5仕上

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
水洗い 塗装改修部	高圧ポンプ	2,116	㎡			
水洗い ﾊﾞﾙｺﾆｰ・階段床	高圧ポンプ	224	㎡			
水洗い 基礎立上り	高圧ポンプ	55.8	㎡			
床ﾓﾙﾀﾙ塗り	金ごて ﾓﾙﾀﾙ仕上げ　厚30	47.8	㎡			
壁ﾓﾙﾀﾙ塗り	金ごて 外壁　厚25	215	㎡			
壁ﾓﾙﾀﾙ塗り	金ごて 外壁開口塞ぎ部分　厚25	47.9	㎡			
防水形 複層塗材 E	ｺﾝｸﾘｰﾄ面　凹凸状　吹付け ｱｸﾘﾙ系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費(C-1)共	1,475	㎡			
複層塗材 E	ｺﾝｸﾘｰﾄ面　凹凸状　吹付け ｱｸﾘﾙ系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費(C-1)共	328	㎡			
複層塗材 E	ALCﾊﾟﾈﾙ面 凹凸状　吹付け ｱｸﾘﾙ系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費(C-1)共	50.5	㎡			
複層塗材 E 見上面	ｺﾝｸﾘｰﾄ面　凹凸状　吹付け ｱｸﾘﾙ系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費(C-1)共	83.8	㎡			
外装薄塗材 E 見上面	ｺﾝｸﾘｰﾄ面　砂壁状 吹付け 下地調整費(C-1)共	248	㎡			
ﾋﾟｯﾄ防水ﾓﾙﾀﾙ	厚さ20	17.9	㎡			
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りあり @450	94.7	㎡			
壁 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-R)	厚 9.5　準不燃 鋼製､木､ﾎﾞｰﾄﾞ下地 突付け 下張GB-R　厚12.5共	94.7	㎡			
壁ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填	厚100　24kg/㎥	94.7	㎡			
床ﾀｲﾙ (階段用ﾀｲﾙ張り)	垂れ付き段鼻 Ⅰ類　無ゆう 150mm角 下地ﾓﾙﾀﾙ別途	6.7	m			
塗膜防水 ﾊﾞﾙｺﾆｰ床	X-2 密着工法 ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系　平面 表面塗装ｼﾙﾊﾞｰ	233	㎡			
塗膜防水 ﾊﾞﾙｺﾆｰ立上り	X-2 密着工法 ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系　立上り 表面塗装ｼﾙﾊﾞｰ	51.6	㎡			
塗膜防水 屋上（新規面）	X-2 密着工法 ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系　平面 表面塗装ｼﾙﾊﾞｰ	9.4	㎡			
塗膜防水 屋上（新規面）	X-2 密着工法 ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系　立上り 表面塗装ｼﾙﾊﾞｰ	5.2	㎡			

A外装・共用部改修工事　A5仕上　A5仕上

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
塗膜防水 屋上（配管基礎・貫通部）	X-2 密着工法 ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系　狭小部位	49	か所			
塗膜防水 屋上（撤去・塗重ね部分）	X-2 密着工法 ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系　平面 表面塗装ｼﾙﾊﾞｰ	7.3	㎡			
塗膜防水 屋上（撤去・塗重ね部分）	X-2 密着工法 ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系　立上り 表面塗装ｼﾙﾊﾞｰ	2.2	㎡			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 15×10	228	m			
計						

A外装・共用部改修工事　A6ユニット及びその他　外部

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
硬質塩ﾋﾞ竪樋 (ｶﾗｰVP) 掴金物共	φ100	66.4	m			
掲示板	アルミ枠　W900×H600	2	か所			
集合ポスト	外出入　室番号共　ＳＵＳ W360×D300×H120	24	か所			
集合住宅用表札	部屋番号付　アルミ　W250×H125	24	か所			
ﾊﾞﾙｺﾆｰ手摺	ｱﾙﾐ 一段格子ﾀｲﾌﾟ	48	か所			
物干金物	アルミ　H530	36	本			
物干金物	アルミ　H780	12	本			
ﾊﾞﾙｺﾆｰ隔壁	ｱﾙﾐ枠 ｶﾗｰｹｲｶﾙ板 厚5W830×H1800 避難案内ｽﾃｯｶｰ共	20	か所			
床下換気口	ＳＵＳ W400×H150 防虫網付	12	か所			
避難ﾊｯﾁ取手取付	ＳＵＳ取手	3	か所			
ＳＯＰ塗り 改修仕様	鉄鋼面　工程B種 塗料1種 錆止工程C塗料A 下地RB種(塗替え面)	2	㎡			
棟番号サイン	ｻﾝﾛｲﾄﾞﾁｬﾝﾈﾙ切り文字 小口黒塗装	2	か所			
計						

Ｂ１階車椅子対応改修工事　B1直接仮設

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
墨出し		1	式			別紙 00-0034
養生		1	式			別紙 00-0035
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0036
内部仕上足場		1	式			別紙 00-0037
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	4階建	170	㎡			
計						

B１階車椅子対応改修工事　B2躯体

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
砂利地業	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ	27.8	m3			
ｽﾊﾟｲﾗﾙ筋	R6×100/50	35.8	m			
異形鉄筋	SD295　D10	1.6	t			
異形鉄筋	SD295　D13	48.4	kg			
鉄筋加工組立	RC壁式構造 階高2.8m程度　形状単純	1.6	t			
鉄筋運搬費	4ｔ車　30km程度	1.6	t			
普通ｺﾝｸﾘｰﾄ	JIS A5308　FC=18　S15 粗骨材20	24.1	m3			
普通ｺﾝｸﾘｰﾄ	JIS A5308　FC=24　S15 粗骨材20	4.3	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	土間　ﾎﾟﾝﾌﾟ打設 50m3/回程度　S15～S18 -　圧送費、基本料別途	24.1	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	躯体　ﾎﾟﾝﾌﾟ打設 50m3/回未満　S15～S18 標準階高 圧送費、基本料別途	4.3	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ圧送 基本料金	30m3以上 50m3/回未満	2	回			
ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ 圧送	30m3以上 50m3/回未満 基本料金別途加算	28.4	m3			
無収縮ﾓﾙﾀﾙ注入	試験費共　Fc30	0.5	m3			
型枠	普通合板型枠 壁式構造　基礎部 -	75.5	㎡			
型枠運搬費	4ｔ車　30km程度 往復	75.5	㎡			
型枠処分費		25.2	㎡			
無収縮ﾓﾙﾀﾙ注入用 型枠	両面木製　厚18	18.4	m			
目あらし	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 壁	33.9	㎡			
あと施工ｱﾝｶｰ	接着系ｱﾝｶｰ　D13×500　下向き	60	本			
あと施工ｱﾝｶｰ	接着系ｱﾝｶｰ　D13×500　横向き	200	本			

Ｂ１階車椅子対応改修工事　B2躯体

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
あと施工ｱﾝｶｰ	接着系ｱﾝｶｰ　D13×500　上向き	56	本			
あと施工ｱﾝｶｰ	接着系ｱﾝｶｰ　D19×960　下向き	4	本			
あと施工ｱﾝｶｰ	接着系ｱﾝｶｰ　D19×960　上向き	4	本			
あと施工ｱﾝｶｰ	接着系ｱﾝｶｰ　M12×160　下向き	16	本			
あと施工ｱﾝｶｰ	接着系ｱﾝｶｰ　M12×160　横向き	160	本			
あと施工ｱﾝｶｰ	接着系ｱﾝｶｰ　M12×160　上向き	12	本			
計						

B１階車椅子対応改修工事　B3建具　アルミニウム製建具

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
AD-1		1	か所			
AD-2		4	か所			
AW-3		4	か所			
設計費		1	式			
搬入費		1	式			
取付費		1	式			
法定福利費		1	式			
建具周囲防水 ﾓﾙﾀﾙ充填	外部建具	39.8	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 15×10	82	m			
既存建具網戸取付	既存AD-1 戸車交換、建付調整共	3	か所			
既存建具網戸取付	既存AW-3 戸車交換、建付調整、	4	か所			
計						

B１階車椅子対応改修工事　B3建具　鋼製建具

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
SD-2		4	か所			
SD-5		4	か所			
設計費		1	式			
搬入費		1	式			
取付費		1	式			
法定福利費		1	式			
建具周囲防水 ﾓﾙﾀﾙ充填	外部建具	39.6	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 15×10	39.6	m			
計						

B１階車椅子対応改修工事　B3建具　木製建具

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
WD-1		4	か所			
WD-3		8	か所			
WD-5		4	か所			
WD-6		4	か所			
WD-7		4	か所			
WD-8		4	か所			
WD-9		4	か所			
金物費		1	式			
取付費		1	式			
計						

Ｂ１階車椅子対応改修工事　B3建具　ガラス

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
(金属製建具)						
複層ｶﾞﾗｽ	FL3+A6+FL3　特寸 2.0㎡以下 ｶﾞﾗｽとめ材別途 清掃共	6.2	㎡			
複層ｶﾞﾗｽ	F4+A6+FL3　2.0㎡以下	6.2	㎡			
複層ｶﾞﾗｽ	FW6.8+A6+Lowe5　2.0㎡以下	1	㎡			
(木製建具)						
型板ｶﾞﾗｽ	厚さ4　特寸 2.18㎡以下 ｶﾞﾗｽとめ材別途 清掃共	0.3	㎡			
ｱｸﾘﾙ板	3×6×2.0t	8	枚			
(ｶﾞﾗｽ留め)						
ｶﾞﾗｽとめ(ｼｰﾘﾝｸﾞ) (両面)	ｼﾘｺﾝ　1成分形 SR-1 ｶﾞﾗｽ規格2.18㎡以下	77.5	㎡			
難燃ｼｰﾘﾝｸﾞ	8×10	8	m			
計						

米　子　市

B１階車椅子対応改修工事　B3建具　枠・額縁

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
WD-1枠	木製三方枠 25×180程度 桧	4	か所			
WD-3枠	木製三方枠 25×120程度 桧	8	か所			
WD-5枠	木製三方枠 25×120程度 桧	4	か所			
WD-6枠	木製四方枠 25×120程度 桧	4	か所			
WD-7枠	木製三方枠 25×120程度 桧	4	か所			
WD-8枠	木製三方枠 25×120程度 桧	4	か所			
WD-9枠	木製三方枠 25×120程度 桧	4	か所			
敷居	90×40 6-41-1 施工手間	28.1	m			
額縁	30×65 6-41-3 施工手間	70.6	m			
ＯＳ塗り (糸幅300㎜以下)	木部　素地B種	239	m			
計						

B１階車椅子対応改修工事　B4内外装　内部

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
樹脂束	H=692	152	本			
樹脂束	H=72	36	本			
際根太	45×75　杉一等	11.2	m			
際根太	45×60　杉一等	122	m			
振れ止め	45×60　米松一等	31.2	m			
大引	90×90　米松一等	198	m			
大引受け	45×90　米松一等	136	m			
根太ﾚｽ合板	t=24	165	㎡			
床下地合板張	t=12　T2	165	㎡			
床ﾗﾜﾝ合板張	t=12　T2	2.1	㎡			
床下断熱材	押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ t=45	180	㎡			
床ﾓﾙﾀﾙ塗り	金ごて ﾋﾞﾆﾙ系床材下地 厚28	3.4	㎡			
ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	無 地 厚さ2.0 複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄFS 一般床 熱溶接工法	164	㎡			
防滑性ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	t=2.5	3.4	㎡			
ﾋﾞﾆﾙ幅木	高さ60	216	m			
雑巾摺	杉 15×10	12	m			
壁ﾓﾙﾀﾙ塗り	金ごて 外部建具廻り	3.2	㎡			
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りなし @300	161	㎡			
軽量鉄骨壁下地	45形 下地張りなし @300	16.6	㎡			
軽量鉄骨壁下地	20形 下地張りなし @300	248	㎡			

B１階車椅子対応改修工事　B4内外装　内部

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 900×2000㎜程度	20	か所			
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 ﾀﾞｸﾄ等四方補強 450× 900㎜程度	4	か所			
壁補強用合板	t=12	7.6	㎡			
壁 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-R)	厚12.5　不燃 鋼製､木､ﾎﾞｰﾄﾞ下地 継目処理 -　　-	483	㎡			
壁　ｼｰｼﾞﾝｸﾞ せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-S)	厚12.5　不燃 鋼製､木､ﾎﾞｰﾄﾞ下地 継目処理 -　　-	23.8	㎡			
壁ﾗﾜﾝ合板張	t=4.0	18.9	㎡			
壁ビニルクロス	材工共	485	㎡			
化粧ｹｲｶﾙ板	t=6.0 不燃 ｱﾙﾐｼﾞｮｲﾅｰ共	6.2	㎡			
天井廻縁	塩化ﾋﾞﾆﾙ製	291	m			
天井廻縁	杉 15×10	12	m			
木天井下地	45×60@303 杉一等	122	㎡			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @225 ｲﾝｻｰﾄ含む	47.7	㎡			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内)　150× 150㎜程度 ﾎﾞｰﾄﾞ等切込み共	4	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内)　300× 300㎜程度 ﾎﾞｰﾄﾞ等切込み共	4	か所			
天井　化粧 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-D)	厚 9.5　準不燃 ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ 突付け	144	㎡			
天井ﾗﾜﾝ合板張	t=4.0	2.1	㎡			
ｼｰﾘﾝｸﾞ ｷｯﾁﾝ廻り	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 10×10	9.8	m			
計						

Ｂ１階車椅子対応改修工事　B5ユニット及びその他　内部

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
床見切り	SUS HL W=40 t=1.5	4	か所			
床下点検口	ｱﾙﾐ枠 450角 鍵付	8	か所			
ｸﾛｰｾﾞｯﾄ棚板	ﾎﾟﾘ合板ﾌﾗｯｼｭ t=30 W2485×D450　ﾌﾞﾗｹｯﾄ共	4	か所			
ｸﾛｰｾﾞｯﾄ棚板	ﾎﾟﾘ合板ﾌﾗｯｼｭ t=30 W1000×D450　ﾌﾞﾗｹｯﾄ共	4	か所			
物入棚板	ﾎﾟﾘ合板ﾌﾗｯｼｭ t=30 W870×D250　ﾌﾞﾗｹｯﾄ共	4	か所			
脱衣棚板	ﾎﾟﾘ合板ﾌﾗｯｼｭ t=30 W1590×D300　ﾌﾞﾗｹｯﾄ共	4	か所			
ＷＣ棚板	ﾎﾟﾘ合板ﾌﾗｯｼｭ t=30 W1590×D300　ﾌﾞﾗｹｯﾄ共	4	か所			
ﾗｲﾆﾝｸﾞ	ﾒﾗﾐﾝﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ t=20 W120×L1520	4	か所			
車椅子対応 ｷｯﾁﾝﾕﾆｯﾄ	流し台、ガス台、吊戸棚、ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ、 水切棚　搬入・取付費共	4	か所			
同上点検口蓋	ﾎﾟﾘ合板ﾌﾗｯｼｭ t=24	4	か所			
ﾕﾆｯﾄﾊﾞｽ	1416ｻｲｽﾞ　搬入施工費共	4	か所			
下足入-01		4	か所			
同上取付費		1	式			
樹脂被覆手摺	I型 L=600	8	か所			
ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ	SUS ﾀﾞﾌﾞﾙ	13.6	m			
ｴｱｺﾝｽﾘｰﾌﾞ	樹脂製 100φ	8	か所			
計						

Ｃ１～４階改修工事　C1直接仮設

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
墨出し		1	式			別紙 00-0038
養生		1	式			別紙 00-0039
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0040
内部仕上足場		1	式			別紙 00-0041
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	4階建	853	㎡			
計						

Ｃ１～４階改修工事　C2躯体

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｽﾊﾟｲﾗﾙ筋	R6×100/50	122	m			
異形鉄筋	SD295　D10	2.2	t			
異形鉄筋	SD295　D13	215	kg			
鉄筋加工組立	RC壁式構造 階高2.8m程度　形状単純	2.4	t			
鉄筋運搬費	4ｔ車　30km程度	2.4	t			
普通ｺﾝｸﾘｰﾄ	JIS A5308　FC=18　S15 粗骨材20	12.6	m3			
普通ｺﾝｸﾘｰﾄ	JIS A5308　FC=24　S15 粗骨材20	18.6	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	土間　ﾎﾟﾝﾌﾟ打設 50m3/回程度　S15～S18 -　圧送費、基本料別途	12.6	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	躯体　ﾎﾟﾝﾌﾟ打設 50m3/回未満　S15～S18 標準階高 圧送費、基本料別途	18.6	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ圧送基本料金	30m3以上 50m3/回未満	4	回			
ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ圧送	30m3以上 50m3/回未満 基本料金別途加算	31.2	m3			
無収縮ﾓﾙﾀﾙ注入	試験費共　Fc30	2.3	m3			
型枠	普通合板型枠 壁式構造　基礎部 -	244	㎡			
型枠運搬費	4ｔ車　30km程度 往復	244	㎡			
型枠処分費		81.3	㎡			
無収縮ﾓﾙﾀﾙ注入用型枠	両面木製　厚18	85.4	m			
目あらし	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 壁	147	㎡			
あと施工ｱﾝｶｰ	接着系ｱﾝｶｰ　D13×500　下向き	340	本			
あと施工ｱﾝｶｰ	接着系ｱﾝｶｰ　D13×500　横向き	660	本			
あと施工ｱﾝｶｰ	接着系ｱﾝｶｰ　D13×500　上向き	320	本			

Ｃ１～４階改修工事　C2躯体

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
あと施工ｱﾝｶｰ	接着系ｱﾝｶｰ　D19×960　下向き	80	本			
あと施工ｱﾝｶｰ	接着系ｱﾝｶｰ　D19×960　上向き	80	本			
あと施工ｱﾝｶｰ	接着系ｱﾝｶｰ　M12×160　下向き	46	本			
あと施工ｱﾝｶｰ	接着系ｱﾝｶｰ　M12×160　横向き	440	本			
あと施工ｱﾝｶｰ	接着系ｱﾝｶｰ　M12×160　上向き	26	本			
計						

C１～４階改修工事	C3建具	アルミニウム製建具				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
AD-1B		3	か所			
AD-2		20	か所			
AW-1		12	か所			
AW-3		20	か所			
設計費		1	式			
搬入費		1	式			
取付費		1	式			
法定福利費		1	式			
建具周囲防水 ﾓﾙﾀﾙ充填	外部建具	244	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 15×10	468	m			
既存建具網戸取付	既存AD-1 戸車交換、建付調整、 清掃共	17	か所			
既存建具網戸取付	既存AW-3 戸車交換、建付調整、 清掃共	20	か所			
計						

Ｃ１～４階改修工事　C3建具　鋼製建具

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
SD-1		18	か所			
SD-3		2	か所			
SD-5		12	か所			
設計費		1	式			
搬入費		1	式			
取付費		1	式			
法定福利費		1	式			
建具周囲防水 ﾓﾙﾀﾙ充填	外部建具	111	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 15×10	111	m			
計						

Ｃ１～４階改修工事　C3建具　木製建具

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
WD-1		20	か所			
WD-2		12	か所			
WD-3		20	か所			
WD-4		20	か所			
WD-5		20	か所			
WD-6		8	か所			
WD-10		12	か所			
F-1		20	か所			
F-2		8	か所			
F-3		12	か所			
金物費		1	式			
塗装費		1	式			
取付費		1	式			
計						

Ｃ１～４階改修工事　C3建具　ガラス

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
(金属製建具)						
複層ｶﾞﾗｽ	FL3+A6+FL3　特寸 2.0㎡以下 ｶﾞﾗｽとめ材別途 清掃共	24.4	㎡			
複層ｶﾞﾗｽ	F4+A6+FL3　2.0㎡以下	24.4	㎡			
複層ｶﾞﾗｽ	PW6.8+A6+Lowe5　2.0㎡以下	8.1	㎡			
複層ｶﾞﾗｽ	FW6.8+A6+Lowe5　2.0㎡以下	22.1	㎡			
(木製建具)						
型板ｶﾞﾗｽ	厚さ4　特寸 2.18㎡以下 ｶﾞﾗｽとめ材別途 清掃共	1.6	㎡			
ｱｸﾘﾙ板	3×6×2.0t	40	枚			
(ｶﾞﾗｽ留め)						
ｶﾞﾗｽとめ(ｼｰﾘﾝｸﾞ) (両面)	ｼﾘｺﾝ　1成分形 SR-1 ｶﾞﾗｽ規格2.18㎡以下	194	㎡			
難燃ｼｰﾘﾝｸﾞ	8×10	117	m			
計						

Ｃ１～４階改修工事　C3建具　枠・額縁

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
WD-1枠	木製三方枠 25×180程度 桧	20	か所			
WD-2枠	木製三方枠 25×120程度 桧	12	か所			
WD-3枠	木製三方枠 25×120程度 桧	20	か所			
WD-4枠	木製三方枠 25×120程度 桧	20	か所			
WD-5枠	木製三方枠 25×120程度 桧	20	か所			
WD-6枠	木製四方枠 25×120程度 桧	8	か所			
WD-10枠	木製三方枠 25×120程度 桧	12	か所			
F-1枠	木製三方枠 25×120程度 桧	20	か所			
F-2枠	木製三方枠 25×120程度 桧	8	か所			
F-3枠	木製三方枠 25×120程度 桧	12	か所			
DK木枠	木製三方枠 25×180程度 桧	18	か所			
敷居	90×40 6-41-1 施工手間	246	m			
敷居	W180×L1740×25t 桧	20	か所			
額縁	30×65 6-41-3 施工手間	517	m			
ＯＳ塗り (糸幅300mm以下)	木部　素地B種	1,411	m			
計						

C１～４階改修工事　C4内外装　内部

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
樹脂束	H=692	54	本			
樹脂束	H=72	16	本			
遮音樹脂束	H=67.5	1,466	本			
遮音樹脂束	H=76	108	本			
遮音樹脂束	H=198	12	本			
飼木	45×60　杉一等	913	m			
際根太	45×75　杉一等	23.9	m			
際根太	45×50　杉一等	804	m			
際根太	45×60　杉一等	110	m			
束	45×75　桧一等	51	本			
振れ止め	45×60　米松一等	15.6	m			
大引	90×90　米松一等	81.5	m			
大引受け	45×90　米松一等	50	m			
床組	押入腰・枕棚　施工手間	118	㎡			
根太ﾚｽ合板	t=24	75.2	㎡			
床合板張	t=12　T2	72.3	㎡			
床合板張	t=15	383	㎡			
床合板張	t=5.5	313	㎡			
床ﾗﾜﾝ合板張	t=12　T2	32.5	㎡			
床ﾗﾜﾝ合板張	t=5.5	189	㎡			

C１～４階改修工事　C4内外装　内部

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
床下断熱材	押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ t=45	74.7	㎡			
畳敷き	標仕D種　畳表C2 柄へり　Ht 畳床KT-Ⅲ　一畳 施工規模30枚以下程度	200	枚			
畳敷き	標仕D種　畳表C2 柄へり　Ht 畳床KT-Ⅲ　半畳 施工規模30枚以下程度	20	枚			
床ﾓﾙﾀﾙ塗り	金ごて ﾋﾞﾆﾙ系床材下地 厚28	19.7	㎡			
ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	無 地 厚さ2.0 複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄFS 一般床 熱溶接工法	370	㎡			
防滑性ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	t=2.5	22.1	㎡			
ﾋﾞﾆﾙ幅木	高さ60	643	m			
雑巾摺	杉 15×10	436	m			
畳寄せ	35×55程度	282	m			
壁ﾓﾙﾀﾙ塗り	金ごて 外部建具廻り	14	㎡			
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りなし @300	612	㎡			
軽量鉄骨壁下地	45形 下地張りなし @300	135	㎡			
軽量鉄骨壁下地	20形 下地張りなし @300	1,284	㎡			
軽量鉄骨下がり壁下地	19形(屋内) H300～500程度	72	m			
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 900×2000㎜程度	74	か所			
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 ﾀﾞｸﾄ等四方補強 450× 900㎜程度	12	か所			
壁補強用合板	t=12	30.2	㎡			
壁 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-R)	厚12.5　不燃 鋼製､木､ﾎﾞｰﾄﾞ下地 継目処理 -　-	1,985	㎡			
壁　ｼｰｼﾞﾝｸﾞ せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-S)	厚12.5　不燃 鋼製､木､ﾎﾞｰﾄﾞ下地 継目処理 -　-	112	㎡			
壁ﾗﾜﾝ合板張	t=4.0	480	㎡			

C１～４階改修工事　C4内外装　内部

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
壁和風ビニルクロス	材工共	724	㎡			
壁ビニルクロス	材工共	90.8	㎡			
化粧ｹｲｶﾙ板	t=6.0 不燃 ｱﾙﾐｼﾞｮｲﾅｰ共	48.7	㎡			
天井廻縁	塩化ﾋﾞﾆﾙ製	709	m			
天井廻縁	杉 19×45	570	m			
天井廻縁	杉 15×10	271	m			
木天井下地	45×60@303 杉一等	466	㎡			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @225 ｲﾝｻｰﾄ含む	351	㎡			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内)　150× 150mm程度 ﾎﾞｰﾄﾞ等切込み共	20	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内)　300× 300mm程度 ﾎﾞｰﾄﾞ等切込み共	20	か所			
天井　化粧 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-D)	厚 9.5　準不燃 ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ 突付け	354	㎡			
天井 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-R)	厚 9.5　準不燃 継目処理	377	㎡			
天井和風ビニルクロス	材工共	377	㎡			
天井ﾗﾜﾝ合板張	t=4.0	82	㎡			
天井ｸﾞﾗｽｳｰﾙ敷込	t=50 24kg/㎡	224	㎡			
ＳＯＰ塗り	鉄鋼面　工程B種 塗料1種 錆止工程B塗料A	7.1	㎡			
ｼｰﾘﾝｸﾞ ｷｯﾁﾝ廻り	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 10×10	48.1	m			
計						

Ｃ１～４階改修工事　C5ユニット及びその他　内部

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
床見切り	SUS HL W=40 t=1.5	20	か所			
床下点検口	ｱﾙﾐ枠 450角 鍵付	4	か所			
物入棚板	ﾎﾟﾘ合板ﾌﾗｯｼｭ t=30 W845×D250　ﾌﾞﾗｹｯﾄ共	2	か所			
物入棚板	ﾎﾟﾘ合板ﾌﾗｯｼｭ t=30 W855×D250　ﾌﾞﾗｹｯﾄ共	6	か所			
脱衣棚板	ﾎﾟﾘ合板ﾌﾗｯｼｭ t=30 W1600×D300　ﾌﾞﾗｹｯﾄ共	20	か所			
ＷＣ棚板	ﾎﾟﾘ合板ﾌﾗｯｼｭ t=30 W840×D200　ﾌﾞﾗｹｯﾄ共	12	か所			
ＷＣ棚板	ﾎﾟﾘ合板ﾌﾗｯｼｭ t=30 W860×D200　ﾌﾞﾗｹｯﾄ共	8	か所			
ｷｯﾁﾝﾕﾆｯﾄ	流し台、ガス台、吊戸棚、ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ、 水切棚　搬入･取付費共	20	か所			
ﾕﾆｯﾄﾊﾞｽ	1216ｻｲｽﾞ　搬入施工費共	20	か所			
下足入-02		20	か所			
同上取付費		1	式			
樹脂被覆手摺	I型 L=600	40	か所			
ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ	SUS ﾀﾞﾌﾞﾙ	88.4	m			
ｴｱｺﾝｽﾘｰﾌﾞ	樹脂製 100φ	52	か所			
面格子	ｱﾙﾐ W1290×H1450	12	か所			
計						

D物置棟改修工事　D1直接仮設

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
墨出し		1	式			別紙 00-0042
養生		1	式			別紙 00-0043
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0044
外部足場		1	式			別紙 00-0045
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0047
計						

D物置棟改修工事　D2屋根及びとい　外部

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
大波ｽﾚｰﾄｶﾊﾞｰ	ｶﾗｰGL鋼鈑 厚0.5 W780×L2400	95.2	㎡			
専用固定金具		95.2	㎡			
ｹﾗﾊﾞ包み	ｶﾗｰGL鋼鈑 厚0.4	4.9	m			
同上下地	ﾒｯｷｱﾝｸﾞﾙ 30×30×3	4.9	m			
鼻隠し	ｶﾗｰGL鋼鈑 厚0.4	39.1	m			
ｹﾐｶﾙ面戸		38.4	m			
面戸取合い水切	ｶﾗｰGL鋼鈑 厚0.4	38.4	m			
建具上水切	ｶﾗｰGL鋼鈑 厚0.4	38.4	m			
消耗品費	ﾋﾞｽ、ｼｰﾙ他	1	式			
荷揚げ費	4tｴﾆｯｸ	1	式			
計						

D物置棟改修工事	D3建具			アルミニウム製建具		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
AD-1N		2	か所			
AD-2N		22	か所			
設計費		1	式			
運搬費		1	式			
取付調整費		1	式			
法定福利費		1	式			
建具周囲防水 ﾓﾙﾀﾙ充填	外部建具	155	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 15×10	155	m			
計						

D物置棟改修工事　D3建具　ガラス

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
型板ｶﾞﾗｽ	厚さ4　特寸 2.18㎡以下 ｼｰﾘﾝｸﾞ　清掃共	26.3	㎡			
ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ	2.18㎡以下	26.3	㎡			
ｶﾞﾗｽとめ(ｼｰﾘﾝｸﾞ) (両面)	ｼﾘｺﾝ　1成分形 SR-1 ｶﾞﾗｽ規格2.18㎡以下	144	㎡			
計						

D物置棟改修工事　D4仕上　D4仕上

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
鉄骨下地	□-30×60×2.3　SOP塗り	24	か所			
水洗い 塗装改修部	高圧ポンプ	81.1	㎡			
水洗い 基礎立上り	高圧ポンプ	8.5	㎡			
防水形 複層塗材 E	ｺﾝｸﾘｰﾄ面　凹凸状　吹付け ｱｸﾘﾙ系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費(C-1)共	103	㎡			
計						

E外構工事　E1ｺﾝｸﾘｰﾄ擁壁・縁石

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
根切り		1	式			別紙 00-0048
床付け		1	式			別紙 00-0049
埋戻し		1	式			別紙 00-0050
場内仮置土	建物周辺20～30m	10.3	m3			
砂利地業	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ	2.8	m3			
普通ｺﾝｸﾘｰﾄ	JIS A5308　FC=18　S15 粗骨材20	1	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	捨てｺﾝｸﾘｰﾄ　人力打設 -　S15～S18 -　-	1	m3			
普通ｺﾝｸﾘｰﾄ	JIS A5308　FC=21　S15 粗骨材20	1.7	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	小型構造物　人力打設 擁壁、囲障の基礎等 S15～S18 -　-	1.7	m3			
型枠	打放合板型枠B種 壁式構造　基礎部 -	17.2	㎡			
型枠運搬費	4ｔ車　30km程度 往復	17.2	㎡			
型枠処分費		5.7	㎡			
異形鉄筋	SD295　D10	68.9	kg			
異形鉄筋	SD295　D13	44.7	kg			
鉄筋加工組立	小型構造物 -　-	0.1	t			
鉄筋運搬費	4ｔ車　30km程度	0.1	t			
床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	1.7	㎡			
笠木天端ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ	金ごて 幅300	16.5	m			
打放し面補修	B 種 ｺｰﾝ処理　部分目違いばらい	2.9	㎡			
ｺﾝｸﾘｰﾄ保護材塗り	水性シリコン樹脂クリア	2.9	㎡			

E外構工事　E1ｺﾝｸﾘｰﾄ擁壁・縁石

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｺﾝｸﾘｰﾄ縁石	W150/170×H200×L600	1.6	m			
敷地内清掃	敷地南側	661	㎡			
計						

E外構工事　E2屋外排水

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
U形側溝	180　－　再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ	52.5	m			
同上ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ	ｽﾁｰﾙ 細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ ｸｯｼｮﾝ付 T-2 溶融亜鉛ﾒｯｷ	52.5	m			
集水桝	450角	2	か所			
同上ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ	ｽﾁｰﾙ 細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ ｸｯｼｮﾝ付 T-6 溶融亜鉛ﾒｯｷ	2	か所			
排水管	塩化ﾋﾞﾆﾙ管　100φ	1.2	m			
排水管	塩化ﾋﾞﾆﾙ管　150φ	4.5	m			
計						

F解体・撤去工事　F1外装・共用部

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
たてどい撤去	VP管 集積共	66.4	m			
床下換気口撤去	鋳鉄製　W400×H160	24	か所			
落下防止手摺撤去	ｽﾁｰﾙ　W1760×H850	24	か所			
ﾊﾞﾙｺﾆｰ手摺撤去	ｽﾁｰﾙ　W2000×H1020	48	か所			
掲示板撤去	W900×H600	3	か所			
郵便受け撤去	ｽﾁｰﾙ　W1360×H480	3	か所			
集合住宅用表札撤去	樹脂製	24	か所			
物干金物撤去	ｽﾁｰﾙ　H530	36	本			
物干金物撤去	ｽﾁｰﾙ　H780	12	本			
ﾊﾞﾙｺﾆｰ隔壁撤去	ｽﾁｰﾙ枠　石綿ｾﾒﾝﾄ板 厚5 石綿作業ﾚﾍﾞﾙ3	20	か所			
ｱﾙﾐｻｯｼ撤去	ｶﾞﾗｽ、建具周囲はつり別途	5.3	㎡			
ｶﾞﾗｽ撤去	集積共	8	㎡			
ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	集積共	43.1	m			
建具周囲はつり	RC 20cm 集積共	70	m			
ｶｯﾀｰ入れ	ﾓﾙﾀﾙ面　厚さ20～30mm	1,033	m			
ｶｯﾀｰ入れ	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 厚さ20～30mm	418	m			
床ﾓﾙﾀﾙ撤去	集積共	66	㎡			
壁ﾓﾙﾀﾙ撤去	集積共	390	㎡			
CB撤去	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾚｰｶ 集積共	6	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去	鉄筋切断共 ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾚｰｶ 集積共	16.8	m3			

F解体・撤去工事　F1外装・共用部

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
塗膜防水撤去		11.9	㎡			
がれき類 集積、積込み	機 械	18.1	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ類 集積、積込み	機 械	16.8	m3			
廃プラ 積込み	機 械	0.2	m3			
金属くず 積込み	機 械	0.4	m3			
石綿含有ボード 積込み		0.2	㎡			
とりこわし 発生材運搬 がれき類	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m3 7.5km以下	18.1	m3			
とりこわし 発生材運搬 コンクリート類	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m3 3.5km以下	16.8	m3			
とりこわし 発生材運搬 廃ﾌﾟﾗ	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m3 7.5km以下	0.2	m3			
石綿含有ボード 運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m3 石こうﾎﾞｰﾄﾞ類 35.0km以下	0.2	m3			
とりこわし 発生材運搬 金属くず	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m3 3.5km以下	0.4	m3			
計						

F解体・撤去工事　F2１階車椅子対応改修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ撤去	ｱﾙﾐ L=1700	20.4	m			
ｷｯﾁﾝﾕﾆｯﾄ撤去	L=1800 吊戸棚共	4	か所			
浴槽撤去		4	か所			
ｴｱｺﾝｽﾘｰﾌﾞ撤去	樹脂製　100φ	4	か所			
ｱﾙﾐｻｯｼ撤去	ｶﾞﾗｽ、建具周囲はつり別途	6.9	㎡			
木額縁撤去	30×100程度	102	m			
鋼製戸撤去	片開き戸 枠共　集積共	7.8	㎡			
建具周囲はつり	RC 20cm 集積共	107	m			
木製戸撤去	片開き戸 枠共　集積共	76.4	㎡			
ｶﾞﾗｽ撤去	集積共	36.5	㎡			
ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	集積共	128	m			
ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ撤去	集積共	56.3	㎡			
畳撤去	一畳 集積共	56	枚			
畳撤去	半畳 集積共	8	枚			
床下地板撤去	集積共	168	㎡			
床組撤去	ころばし 集積共	56.6	㎡			
床組撤去	つか立て 集積共	112	㎡			
梁撤去	120×300	57.6	m			
壁下地撤去	集積共	181	㎡			
木製幅木撤去	集積共	39.8	m			

F解体・撤去工事　F2１階車椅子対応改修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
畳寄せ撤去	30×55	76.3	m			
雑巾摺り撤去	15×15	91.4	m			
柱撤去	集積共	16	本			
付け鴨居撤去	30×35	10.8	m			
木製縦見切り	30×100	9.6	m			
木框撤去	75×100	4.3	m			
敷居撤去	集積共	4	本			
壁下地撤去	集積共	63.8	㎡			
天井合板･ﾎﾞｰﾄﾞ撤去	一重張り 一般 集積共	18.5	㎡			
天井合板･ﾎﾞｰﾄﾞ撤去	一重張り 石綿含有 集積共	36.7	㎡			
天井下地撤去	集積共	36.7	㎡			
木製廻り縁撤去	30×40	130	m			
ｶｯﾀｰ入れ	ﾓﾙﾀﾙ面　厚さ20～30㎜	424	m			
ｶｯﾀｰ入れ	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 厚さ20～30㎜	200	m			
ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去	鉄筋切断共 ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾚｰｶ 集積共	12.6	m3			
貫通穴あけ	壁 100φ 壁厚180	4	か所			
床ﾓﾙﾀﾙ撤去	集積共	49	㎡			
壁ﾓﾙﾀﾙ･ﾌﾟﾗｽﾀｰ撤去	集積共	76.1	㎡			
既存防水層撤去	屋内防水層 ｱｽﾌｧﾙﾄ防水層 集積共	10.1	㎡			
がれき類 集積、積込み	機 械	3.2	m3			

F解体・撤去工事　F2１階車椅子対応改修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｺﾝｸﾘｰﾄ類 集積、積込み	機 械	12.6	m3			
木くず 積込み	機 械	11.5	m3			
廃ﾌﾟﾗ 積込み	機 械	0.4	m3			
金属くず 積込み	機 械	0.3	m3			
廃たたみ 積込み	機 械	5.4	m3			
石綿含有ボード 積込み		0.3	m3			
とりこわし 発生材運搬 がれき類	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m3 7.5km以下	3.2	m3			
とりこわし 発生材運搬 ｺﾝｸﾘｰﾄ類	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m3 3.5km以下	12.6	m3			
とりこわし 発生材運搬 木くず	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m3 木材類 3.5km以下	11.5	m3			
とりこわし 発生材運搬 廃ﾌﾟﾗ	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m3 7.5km以下	0.4	m3			
とりこわし 発生材運搬 廃たたみ	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m3 3.5km以下	5.4	m3			
石綿含有ボード 運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m3 石こうﾎﾞｰﾄﾞ類 35.0km以下	0.3	m3			
とりこわし 発生材運搬 金属くず	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m3 3.5km以下	0.3	m3			
計						

F解体・撤去工事　F3１～４階改修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ撤去	ｱﾙﾐ L=1700	102	m			
ｷｯﾁﾝﾕﾆｯﾄ撤去	L=1800 吊戸棚共	20	か所			
浴槽撤去		20	か所			
ｴｱｺﾝｽﾘｰﾌﾞ撤去	樹脂製　100φ	20	か所			
ｱﾙﾐｻｯｼ撤去	ｶﾞﾗｽ、建具周囲はつり別途	35.6	㎡			
木額縁撤去	30×100程度	508	m			
鋼製戸撤去	片開き戸 枠共　集積共	31.8	㎡			
建具周囲はつり	RC 20cm 集積共	523	m			
木製戸撤去	片開き戸 枠共　集積共	382	㎡			
ｶﾞﾗｽ撤去	集積共	178	㎡			
ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	集積共	640	m			
ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ撤去	集積共	282	㎡			
畳撤去	一畳 集積共	280	枚			
畳撤去	半畳 集積共	40	枚			
床下地板撤去	集積共	544	㎡			
床組撤去	ころばし 集積共	475	㎡			
床組撤去	つか立て 集積共	56.2	㎡			
梁撤去	120×300	28.8	m			
壁下地撤去	集積共	958	㎡			
木製幅木撤去	集積共	199	m			

F解体・撤去工事　F3１～４階改修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
畳寄せ撤去	30×55	381	m			
雑巾摺り撤去	15×15	457	m			
柱撤去	集積共	80	本			
付け鴨居撤去	30×35	54	m			
木製縦見切り	30×100	47.8	m			
木框撤去	75×100	21.6	m			
敷居撤去	集積共	20	本			
壁下地撤去	集積共	339	㎡			
天井合板･ﾎﾞｰﾄﾞ撤去	一重張り 一般 集積共	92.4	㎡			
天井合板･ﾎﾞｰﾄﾞ撤去	一重張り 石綿含有 集積共	391	㎡			
天井下地撤去	集積共	391	㎡			
木製廻り縁撤去	30×40	880	m			
ｶｯﾀｰ入れ	ﾓﾙﾀﾙ面　厚さ20～30㎜	2,280	m			
ｶｯﾀｰ入れ	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 厚さ20～30㎜	624	m			
ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去	鉄筋切断共 ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾚｰｶ 集積共	28.7	m3			
貫通穴あけ	壁 100φ 壁厚180	20	か所			
床ﾓﾙﾀﾙ撤去	集積共	245	㎡			
壁ﾓﾙﾀﾙ･ﾌﾟﾗｽﾀｰ撤去	集積共	534	㎡			
既存防水層撤去	屋内防水層 ｱｽﾌｧﾙﾄ防水層 集積共	50.6	㎡			
がれき類 集積、積込み	機 械	27.8	m3			

F解体・撤去工事　F3１～４階改修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｺﾝｸﾘｰﾄ類 集積、積込み	機 械	28.7	m3			
木くず 積込み	機 械	45.4	m3			
廃ﾌﾟﾗ 積込み	機 械	1.9	m3			
廃たたみ 積込み	機 械	26.7	m3			
金属くず 積込み	機 械	1.3	m3			
石綿含有ボード 積込み		3.3	㎡			
とりこわし 発生材運搬 がれき類	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m3 7.5km以下	27.8	m3			
とりこわし 発生材運搬 ｺﾝｸﾘｰﾄ類	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m3 3.5km以下	28.7	m3			
とりこわし 発生材運搬 木くず	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m3 木材類 3.5km以下	45.4	m3			
とりこわし 発生材運搬 廃ﾌﾟﾗ	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m3 7.5km以下	1.9	m3			
とりこわし 発生材運搬 廃たたみ	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m3 3.5km以下	26.7	m3			
石綿含有ボード 運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m3 石こうﾎﾞｰﾄﾞ類 35.0km以下	3.3	m3			
とりこわし 発生材運搬 金属くず	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m3 3.5km以下	1.3	m3			
計						

F解体・撤去工事　F4物置棟改修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
壁ﾓﾙﾀﾙ撤去	集積共	14.1	㎡			
木製戸撤去	引違戸 枠共　集積共	63.7	㎡			
がれき類 集積、積込み	機 械	0.4	m3			
木くず 積込み	機 械	1.9	m3			
とりこわし 発生材運搬 がれき類	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m3 7.5km以下	0.4	m3			
とりこわし 発生材運搬 木くず	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m3 木材類 3.5km以下	1.9	m3			
計						

F解体・撤去工事　F5外構

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｶｯﾀｰ入れ	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 厚さ20～30mm	2.3	m			
CB撤去	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾚｰｶ 集積共	0.2	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去	鉄筋切断共 ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾚｰｶ 集積共	8	m3			
砕石撤去		4.4	m3			
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装撤去	歩行用 3-10	211	㎡			
がれき類 集積、積込み	機 械	0.2	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ類 集積、積込み	機 械	8	m3			
ｱｽﾌｧﾙﾄ類 集積、積込み	機 械	27.4	m3			
伐採・伐根くず 積込み	機 械	1	m3			
とりこわし 発生材運搬 がれき類	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m3 7.5km以下	0.2	m3			
とりこわし 発生材運搬 ｺﾝｸﾘｰﾄ	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m3 3.5km以下	8	m3			
とりこわし 発生材運搬 ｱｽﾌｧﾙﾄ類	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m3 7.5km以下	27.4	m3			
とりこわし 発生材運搬 伐採・伐根くず	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m3 木材類 3.5km以下	1	m3			
計						

G外構その他工事　G1構内舗装

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
伐採抜根	幹周15cm未満　人力	19	本			
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装	A-5-15 再生細粒 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 500㎡未満	241	㎡			
砂利地業	ｸﾗｯｼｬﾗﾝ	24.2	m3			
舗装機械運搬 (振動ﾛｰﾗ)		1	往復			
舗装機械運搬 (ｱｽﾌｧﾙﾄﾌｨﾆｯｼｬ)		1	往復			
計						

H発生材処分費　H1外装・共用部改修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
がれき類		18.1	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ類	再資源化	39.5	t			
廃ﾌﾟﾗ類		0.1	t			
金属くず	H4	2.7	t			
金属くず	ｱﾙﾐ	70	kg			
石綿含有ボード		0.2	m3			
計						

H発生材処分費　H2１階車椅子対応改修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
がれき類		3.2	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ類	再資源化	29.5	t			
木くず	再資源化	6.3	t			
廃ﾌﾟﾗ		0.1	t			
廃たたみ		5.4	m3			
石綿含有ﾎﾞｰﾄﾞ		0.3	m3			
金属くず	H4	1.1	t			
金属くず	ｱﾙﾐ	380	kg			
計						

H発生材処分費　H3１～４階改修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
がれき類		27.8	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ類	再資源化	67.5	t			
木くず	再資源化	25	t			
廃ﾌﾟﾗ		0.1	t			
廃たたみ		26.7	m3			
石綿含有ﾎﾞｰﾄﾞ		3.3	m3			
金属くず	H4	4.2	t			
金属くず	ｱﾙﾐ	2,000	kg			
計						

H発生材処分費　H4物置棟改修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
がれき類		0.4	m3			
木くず	再資源化	1.1	t			
計						

H発生材処分費　H5外構

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
がれき類		0.2	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ類	再資源化	18.8	t			
ｱｽﾌｧﾙﾄ類	再資源化	40.6	t			
木くず	再資源化	0.6	t			
金属くず	H4	4.5	kg			
計						

A昇降機設備工事　A1昇降機設備

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
巻上機	600kg　45m/min	1	台			
ﾏｼﾝﾋﾞｰﾑ		1	台			
受電、制御盤	4停止 1～4階	1	台			
自動着床装置		1	台			
かご		1	台			
三方枠	大枠　SUS HL	4	か所			
乗場敷居	ｱﾙﾐ製	4	か所			
乗場の戸	SUS HL	4	か所			
乗場押釦/位置表示器	ｸﾘｯｸﾎﾞﾀﾝ/ﾌｪｰｽﾌﾟﾚｰﾄ:SUS HL	4	か所			
ﾌｪｯｼｬｰﾌﾟﾚｰﾄ		1	式			
ﾚｰﾙ	ﾌﾞﾗｹｯﾄ含む	1	式			
ﾛｰﾌﾟ		1	式			
つり合いおもり		1	式			
安全装置	耐震ｸﾗｽA14	1	式			
緩衝装置		1	式			
ｲﾝﾀｰﾎﾝ	6V局	1	式			
地震時管制運転装置	感知器含む(P+S波)	1	式			
停電時自動着床装置		1	式			
火災管制運転装置		1	式			
車椅子仕様	ｷｯｸﾌﾟﾚｰﾄ・手すり・鏡含む	1	式			

A昇降機設備工事　A1昇降機設備

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
視角障害者対応	点字･音声合成ｱﾅｳﾝｽ含む	1	式			
配管・配線材料		1	式			
中間ﾋﾞｰﾑ		1	式			
消耗品・雑材料		1	式			
労務費		1	式			
運搬費		1	式			
法定福利費		1	式			
計						

A外廊下新設工事　A1直接仮設

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
遣方		1	式			別紙 00-0001
遣方	一 般	95.2	㎡			
計						
墨出し		1	式			別紙 00-0002
墨出し	一 般　RC･SRC造 外部廊下	381	㎡			
計						
養生		1	式			別紙 00-0003
養生	一 般　RC･SRC造 外部廊下	381	㎡			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0004
整理清掃 後片付け	一 般　RC･SRC造 外部廊下	381	㎡			
計						
外部足場		1	式			別紙 00-0005
くさび緊結式 （手すり先行方式 ）	H-20m未満　W-900　9ヶ月 運搬費共　安全手摺共	640	㎡			
計						

A外廊下新設工事　A1直接仮設

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
内部仕上足場		1	式			別紙 00-0006
脚立足場	60日	381	㎡			
計						
災害防止		1	式			別紙 00-0007
防音シート張り	解体時　30日	640	㎡			
ネット状養生シート	防炎Ｉ類　240日	640	㎡			
計						
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0008
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	4階建	381	㎡			
仮設材運搬 (ｼｰﾄ･ﾈｯﾄ類)		1,280	㎡			
計						

A外廊下新設工事　A2土工

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
根切り		1	式			別紙 00-0009
根切り	つぼ,布掘り 深さ2.5m程度	166	m3			
計						
床付け		1	式			別紙 00-0010
床付け	つぼ,布掘り	90	m2			
計						
埋戻し		1	式			別紙 00-0011
埋戻し(B種)	- 発生土	52.8	m3			
計						
土工機械運搬		1	式			別紙 00-0012
土工機械運搬	根切り、埋戻し -	2	往復			
計						

A外廊下新設工事　A7防水　外部

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
シーリング	種類、形状	1	式			別紙 00-0013
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系(PU-2) 20×10	212	m			
計						

A外廊下新設工事　A9金属　外部

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
笠木コーナー	形状、幅、仕様	1	式			別紙 00-0014
笠木コーナー	直角　W225　アルミ	2	か所			
笠木コーナー	鈍角　W225　アルミ	12	か所			
計						

Bスロープ・階段工事　B1直接仮設

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
遣方		1	式			別紙 00-0015
遣方	一 般	75.8	㎡			
計						
墨出し		1	式			別紙 00-0016
墨出し	一 般　RC･SRC造 外部階段	75.8	㎡			
計						
養生		1	式			別紙 00-0017
養生	一 般　RC･SRC造 外部階段	75.8	㎡			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0018
整理清掃 後片付け	一 般　RC･SRC造 外部階段	75.8	㎡			
計						

Bスロープ・階段工事　B2土工

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
根切り		1	式			別紙 00-0019
根切り	つぼ,布掘り 深さ2.5m程度	27.8	m3			
計						
床付け		1	式			別紙 00-0020
床付け	つぼ,布掘り	30.9	m2			
計						
埋戻し		1	式			別紙 00-0021
埋戻し(B種)	- 発生土	15.73	m3			
計						
盛り土		1	式			別紙 00-0022
盛土(B種)	発生土	35.5	m3			
計						

A外装・共用部改修工事　A1直接仮設

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
墨出し		1	式			別紙 00-0023
墨出し(外壁改修)	ﾀｲﾙ･ﾓﾙﾀﾙ塗替等 一般	164	㎡			
墨出し (屋上防水改修)		235	㎡			
墨出し(内部改修)	複合改修	27.7	㎡			
計						
養生		1	式			別紙 00-0024
養生(外壁改修)		288	㎡			
養生 (屋上防水改修)	露出防水･簡易防水(塗膜･ｼｰﾄ)	235	㎡			
養生(内部改修)	複合改修	27.7	㎡			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0025
整理清掃後片付け (外壁改修)		288	㎡			
整理清掃後片付け (屋上防水改修)	露出防水･簡易防水(塗膜･ｼｰﾄ)	235	㎡			
整理清掃後片付け (内部改修)	複合改修	27.7	㎡			
計						

A外装・共用部改修工事　A1直接仮設

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
外部足場		1	式			別紙 00-0026
くさび緊結式（手すり先行方式）	H-20m未満　W-900　9ヶ月 運搬費共　安全手摺共	772	㎡			
計						
内部仕上足場		1	式			別紙 00-0027
内部階段仕上足場	120日	49.5	㎡			
ｼｬﾌﾄ内足場	180日	27.7	㎡			
脚立足場	60日	175	㎡			
計						
災害防止		1	式			別紙 00-0028
防音シート張り	解体時　30日	772	㎡			
ネット状養生シート	防炎Ｉ類　240日	772	㎡			
計						
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0029
仮設材運搬（内部仕上足場脚立足場）	4階建	175	㎡			
仮設材運搬（ｼｰﾄ･ﾈｯﾄ類）		1,544	㎡			
計						

A外装・共用部改修工事　A2躯体　A2躯体

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
根切り		1	式			別紙 00-0030
根切り	人力土工 - -	3.7	m3			
計						
床付け		1	式			別紙 00-0031
床付け	つぼ,布掘り	8.1	m²			
計						
盛り土		1	式			別紙 00-0032
盛土(B種)	発生土	2	m3			
計						

A外装・共用部改修工事　A2躯体　A2躯体

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
昇降機鉄骨		1	式			別紙 00-0033
鋼材	H-100×100×6×8	440	kg			
鋼材	H-150×150×7×10	187	kg			
鋼材	PL-3.2	23	kg			
鋼材	PL-6	122	kg			
鋼材	PL-12	97	kg			
鋼材	PL-16	90	kg			
ﾎﾞﾙﾄ類	ABR-M16	26	kg			
ﾎﾞﾙﾄ類	F10T HTB-M16×40	6	kg			
ﾎﾞﾙﾄ類	F10T HTB-M16×45	14	kg			
工作図費		1,005	kg			
工場加工費		959	kg			
錆止塗装費		959	kg			
建方費		1,005	kg			
現場加工費		1,005	kg			
運搬費		1,005	kg			
機械器具損料		1,005	kg			
消耗品費		1,005	kg			
場内小運搬費		1	式			
電動ｳｲﾝﾁ ﾘｰｽ費		1	式			

A外装・共用部改修工事　A2躯体　A2躯体

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
昇降機鉄骨		1	式			別紙 00-0033
ﾀｯﾁｱｯﾌﾟ費		1	式			
計						

Ｂ１階車椅子対応改修工事　B1直接仮設

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
墨出し		1	式			別紙 00-0034
墨出し(内部改修)	複合改修	170	㎡			
計						
養生		1	式			別紙 00-0035
養生(内部改修)	複合改修	170	㎡			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0036
整理清掃後片付け(内部改修)	複合改修	170	㎡			
計						
内部仕上足場		1	式			別紙 00-0037
脚立足場	60日	170	㎡			
計						

C１～４階改修工事　C1直接仮設

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
墨出し		1	式			別紙 00-0038
墨出し(内部改修)	複合改修	853	㎡			
計						
養生		1	式			別紙 00-0039
養生(内部改修)	複合改修	853	㎡			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0040
整理清掃後片付け(内部改修)	複合改修	853	㎡			
計						
内部仕上足場		1	式			別紙 00-0041
脚立足場	60日	853	㎡			
計						

D物置棟改修工事　D1直接仮設

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
墨出し		1	式			別紙 00-0042
墨出し(外壁改修)	ﾀｲﾙ･ﾓﾙﾀﾙ塗替等 一般	12.7	㎡			
計						
養生		1	式			別紙 00-0043
養生(外壁改修)		162	㎡			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0044
整理清掃後片付け(外壁改修)		162	㎡			
計						
外部足場		1	式			別紙 00-0045
脚立足場	7日 運搬費共	162	㎡			
計						

D物置棟改修工事　D1直接仮設

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0047
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅900(二枚布)	0	㎡			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	0	m			
仮設材運搬 (ｼｰﾄ･ﾈｯﾄ類)		0	㎡			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	平家建	162	㎡			
計						

E外構工事　E1ｺﾝｸﾘｰﾄ擁壁・縁石

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
根切り		1	式			別紙 00-0048
根切り	小規模土工 -	21.8	m3			
計						
床付け		1	式			別紙 00-0049
床付け	つぼ,布掘り	24.4	m²			
計						
埋戻し		1	式			別紙 00-0050
埋戻し(B種)	小規模土工 発生土	11.5	m3			
計						

共通仮設費(積上)　明細

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
仮囲い	単管下地　防炎シート張 H-2000　9ヶ月	53.6	m			
ガードフェンス	H-1800	20.4	m			
仮設鉄板敷き	9ヶ月　t22	17.8	㎡			
ｸﾛｽｷｬｽﾀｰｹﾞｰﾄ	W6000×H1800　9ヶ月	3	か所			
交通誘導員		190	人			
VOC測定	ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ、ｽﾃﾚﾝ、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ	1	式			
計						

現場管理費(積上)　明細

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
産業廃棄物処分場税		83.5	t			
計						

１　下請関係の合理化について

(1) この契約に係る工事の的確な施工を確保するため、下請契約を締結しようとする場合は「建設産業における生産システム合理化指針」及び「鳥取県建設工事における下請契約等適性化指針」の趣旨に則り、優良な専門工事業者の選定、合理的な下請契約の締結、代金支払等の適正な履行、適正な施工体制の確立、下請における雇用管理等の指導等を行い同指針の遵守に努めること。

(2) 中小建設業者に対する取引条件の適正化及び資金繰りの安定化等に資するため、元請業者は下請業者に対して、発注者から受取った前払金の下請業者への支払、下請代金における現金比率の改善、手形期間の短縮等、下請代金支払の適正化について配慮すること。

(3) 受注者は、下請契約を締結した場合は、施工体制台帳及び施工体系図を発注者に速やかに提出しなければならない。また、当該施工体制台帳及び施工体系図に変更があったときは、変更が生じた日から 20 日以内（完成時においては、完成通知書の提出時）に変更後の書類を提出しなければならない。

(4) 工事の一部を第三者に請け負わせる場合、又は工事に伴う交通誘導等の業務を第三者に委託する場合には、市内及び県内業者（以下「市内業者等」という。）との契約に努めること（優先順位は市内、県内の順位とする）。ただし、技術的に施工又は対応できる市内業者等がいない工事等を請け負わせ又は業務を委託する場合、あるいは市内業者等で施工できても工程的に間に合わない等、特段の理由がある場合は、この限りでない。

(5) 共同企業体が工事を請け負う場合、構成員による下請けは行わないこと。

２　建設資材等について

(1) 工事に使用する資材については適法に生産されたものとする。

(2) この契約に係る建設資材納入業者との契約に当たっては、当該業者の利益を不当に害しないよう公正な取引を確保するよう努めること。

(3) 工事に使用する資材については、鳥取県が定める「県土整備部リサイクル製品使用基準」に基づき、リサイクル製品を積極的に活用すること。

(4) リサイクル製品以外の工事に要する資材の使用順位は、次のとおりとする。

①　市内産の資材がある場合は、市内産の資材の使用に努めること。ない場合は、県内産について同様の取り扱いとする。

②　県外産の資材を使用する場合は、市内に本社又は営業所、支店等を有する販売業者（以下「市内販売業者」という。）から購入した資材の使用に努めること。市内販売業者がないときは、県内販売業者について同様の取り扱いとする。ただし、当該資材について市内販売業者又は県内販売業者がない場合は、この限りでない。

(5)　工事に使用する資材については、極力有害性ＶＯＣ（揮発性有機化学物質）発生量の少ないものとするよう努めること。

３　工事の安全確保について

(1) この契約に係る工事の施工に当たっては、労働安全衛生法、労働安全衛生規則等を遵守し、労働災害の防止に努め、また工事中の交通事故防止について、特に留意すること。

(2) 労働安全衛生法第 59 条、第 60 条の 2 に定める安全衛生教育を実施するほか、工事着手後、作業員全員の参加により、月当たり半日以上の時間を割り当てて、定期的に安全に関する研修・訓練等を実施するものとし、施工計画書に実施項目について記載するものとする。

(3) この契約に係る工事の施工中に事故が発生した場合は、事故報告書（米子市建築工事等事故関係事務処理マニュアルに定める様式）を提出すると共に、建設工事事故データベースの「事故報告書」についても速やかに提出するものとする。

4　建設機械の使用について

(1) 施工現場及びその周辺の環境改善を図るため、低騒音型・低振動型の建設機械を使用するよう努めること。

(2) 施工現場の快適性を高めるため、排出ガス対策型建設機械の使用に努めること。

5　団体加入車の使用促進について

「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（昭和 42 年法律第 131 号）の目的に鑑み、同法第１２条に規定する団体の設立状況を踏まえ、同団体への加入車の使用を促進するよう努めること。

6　ダンプトラック等、による運搬について

(1) 積載重量制限を超えて工事用資機材等を積み込まず、また積み込ませないようにすること。

(2) さし枠装着車、不表示車等による違法運行は行わず、また行わせないようにすること。

(3) 過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から工事用資機材等の引渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。

(4) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし枠装着車、不表示車等による違法運行を行っている場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。

(5) 建設副産物の処理及び工事用資機材等の搬入・搬出等に当って、下請事業者及び工事用資機材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。

(6) 過積載を行っている資材納入業者から資材を購入しないこと。

(7) 産業廃棄物の運搬車については、車体の外側に、環境省令で定めるところにより、産業廃棄物の収集又は運搬の用に供する運搬車である旨その他の事項を見やすいように表示し、かつ、当該運搬車に環境省令で定める書面を備え付けること。また、産業廃棄物処理業者に委託して産業廃棄物を運搬する場合、この表示、備え付けを行わせること。

(8) 以上のことにつき、元請建設業者は下請建設業者を十分指導すること。

7　不正軽油使用の禁止について

工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む）並びに建設機械等の燃料として、地方税法（昭和 25 年法律第 226 号）に違反する軽油等を使用しないこと。

8　建設業退職金共済制度への加入等

(1) 建設業者は、建設業退職金共済制度（以下「建退共」という。）に加入すると共に、その建退共の対象となる労働者について証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に証紙を貼付すること。ただし、下請けを含むすべての労働者が、中小企業退職金共済制度、清酒製造業退職金共済制度、林業退職金制度のいずれかに既に加入済みで、建退共に加入することができないと認められる場合は、この限りでない。

(2) 建設業者が下請契約を締結する際は、下請業者に対してこの制度の趣旨を説明し、原則として証紙を下請の延労働者数に応じて現物交付することにより、下請業者の建退共加入並びに証紙の貼付を促進すること。なお、現物を交付することができない場合は、掛金相当額を下請代金中に算入することとし、契約書等に明記すること。

(3) 受注者は、工事現場に「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を掲示すること。
(4) 受注者は、建退共の発注者用の掛金収納書を原則として契約締結後１ケ月以内に提出しなければならない。

9　建設業法の遵守について
(1) 建設業法（昭和 24 年法律第 100 号）に違反する一括下請負その他不適切な形態の下請契約を締結しないこと。
(2) 建設業法第 26 条の規定により、受注者が工事現場ごとに設置しなければならない専任の主任技術者または専任の監理技術者については、適切な資格、技術力を有する者（工事現場に常駐して専らその職務に従事するもので、受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係にある者に限る。）を配置すること。
(3) 受注者が工事現場ごとに置かなければならない専任の監理技術者は、１級施工管理技士等の国家資格者等で監理技術者資格者証の交付を受けている者を配置すること。この場合において、発注者から請求があったときは監理技術者資格者証を提示すること。
(4) 建設業法第 40 条の規定により、受注者は建設現場ごとに「建設業の許可票」を掲示すること。
(5) 上記のほか、建設業法等に抵触する行為は行わないこと。

10　労働基準法等の遵守
この契約に係る工事の施工に当たっては、労働基準法等の趣旨に則り法定労働時間週４０時間を遵守すること。

11　建設業からの暴力団排除の徹底について
(1) 鳥取県暴力団排除条例（平成 23 年 3 月鳥取県条例第 3 号）に基づき、暴力団、暴力団員又はこれらの利益につながる活動やこれらと密接な関係を有するなどの行為を行わないこと。
(2) 工事の施工に際し、暴力団等の構成員又はこれに準ずる者から不当な要求や妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、監督員に速やかにその旨を報告するとともに、警察に届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。
(3) この場合において、工程等を変更せざるを得なくなったときは、速やかに監督員に協議すること。

12　産業廃棄物の処理に係る税について
この契約に係る工事で発生する建設廃棄物のうち、鳥取県、岡山県、広島県等の産業廃棄物の処理に係る税条例を施行している自治体内に搬入する建設廃棄物については、産業廃棄物の処理に係る税が課税される場合があるので適切に処理すること。

13　現場代理人、追加技術者、主任技術者、監理技術者及び技能士の雇用関係について
(1) 工事現場に配置する技術者等（技術者等とは、現場代理人、追加技術者、主任技術者、監理技術者及び技能士をいう。）は、所属建設業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあるものでなければならない。
(2) 直接的雇用とは、技術者等とその所属建設業者との間に第三者の介入する余地のない雇用に関する一定の権利義務関係（賃金、労働時間、雇用及び権利構成）が存在することをいい、恒常的な雇用関係とは一定の期間（３か月以上）にわたり当該建設業者に勤務し、日々一定時間以上職務に従事することが担保されていることに加え、技術者等と

所属建設業者が双方の持つ技術力を熟知し、建設業者が責任を持って技術者等を工事現場に配置できるとともに技術者等が建設業者の有する技術力を、十分かつ円滑に活用して工事の監理等の業務を行うことができることをいう。

14　労働者の福祉向上について

(1) 建設労働者の適切な賃金水準の確保、社会保険等（雇用保険、健康保険及び厚生年金保険）への加入など、労働者の福祉向上に努めること。なお、健康保険等の適用を受けない建設労働者に対しても、国民健康保険等に加入するよう指導に努めること。

(2) 下請契約の締結に際しては、下請業者へ法定福利費を内訳明示した見積書（標準見積書という。）の提示を求め、提示された場合にはこれを尊重するとともに、社会保険等の法定福利費などの必要経費を適切に考慮するように努めること。

15　消費税及び地方消費税の適正転嫁等について

下請契約及び資材購入等において、消費税の円滑かつ適正な転嫁の確保のための消費税の転嫁を阻害する行為の是正等に関する特別措置法（平成 25 年法律第 41 号）で禁止された転嫁拒否等行為を行わないなど、適切な対応を行うこと。

16　契約方式について

本工事は総価契約方式を採用しており、設計図書に示された条件などに変更がある場合は契約を変更することができる。契約変更を行う場合には、変更設計額に当初の契約の請負比率を乗じ、変更請負代金額を算出する。

17　その他

(1) 工事施工管理資料等については簡略化名称を使用できることとする。ただし、略称については、発注者と協議の上重複しないよう注意し、また、わかりやすく簡単なものとする。

(2) 本来一体とすべき同一敷地内又は同一敷地内（隣接した敷地を含む）の工事を分割して発注し、新規に発注する工事（以下、「後工事」という。）を現に施工中の工事の受注者と随意契約しようとする場合の共通仮設費は、契約済みの全ての工事（以下「前工事」という。）と後工事を一括して発注したとして算出した共通仮設費の額から、前工事の共通仮設費の額を控除した額とする。なお、後工事が複数ある場合は、その合算工事費を対象とする。

(3) コンクリート構造物については、「コンクリート構造物ひびわれ抑制対策指針」に基づき施工するものとする。

(4) 建設副産物のリサイクル、熱帯木材型枠の削減等、環境対策について積極的に取り組むこと。

(5) 特定フロンの使用の削減に努めること。

(6) 労務費については、法定労働時間週 40 時間を考慮したものとしている。

(7) 受注者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、受注者は、当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）においても同様の義務を負う旨を定めなければならない。

(8) 契約書第 25 条第 5 項の対応については、国土交通省「工事請負契約書第 26 条第 5 項（単品スライド条項）運用マニュアル（案）」に基づき請求を行うこと。なお当マニュアル中「工事請負契約書第 26 条」とあるのは「米子市建設工事請負契約書第 25 条」と読み替えるものとする。

契約書第 25 条第 6 項の対応については、国土交通省「賃金等の変動に対する工事請負契約書第 25 条第 6 項（インフレスライド条項）運用マニュアル（暫定版）（営繕工事版）」に基づき請求を行うこと。

別紙２　　令和3年4月　改正

特 記 事 項　［施工条件明示事項］

※ 番号、・に□印のあるものについて適用する。

明示項目	明　示　事　項	条　件
1 工 程	1．他工事との調整 2．施工時期，施工時間及び施工方法の制限 3．関係機関等との協議 4．工事の指定部分 5．地下埋設物等の調査 地下埋設物の移設が予定されている場合。 6．週休２日促進モデル工事	工事名　市営河崎住宅５０Ｒ１棟長寿命化改善電気設備工事 市営河崎住宅５０Ｒ１棟長寿命化改善機械設備工事 市営河崎住宅３棟解体撤去工事（市営河崎住宅内別事業） 上記工事との連絡及び工程の調整を図ること。 制限される工事 ・ 全般　・ 制限の内容 本工事において、関係法令上必要あれば、関係機関と協議を行うこと。 　　については、 令和　　年　　月　　日までに完成させること。 工事に係る地下埋設物等の事前調査については、〔未調査・（水道・下水道・電気通信・ガス・その他　　）について調査済み〕である。 事前調査済みのうち本工事区域内で埋設が確認されている地下埋設物等は、（水道下水道・電気・通信・ガス・その他　　）であるため、各管理者の立会を求めて埋設位置等の確認を行うこと。 その他埋設が想定される未調査の埋設物については事前に確認を行うとともに、管理者不明の埋設物等が確認された場合は、監督員に報告すること。 ・ 移設期間 本工事は、「営繕工事における週休２日促進工事実施要領」（令和3年4月1日施行）の対象工事であり、発注方式は下記とする。 ・発注者指定方式 ・受注者希望方式
2 用 地	1．工事用車輌の駐車場	・駐車場がないため確保する必要がある。 ・敷地内に一部確保できる。 ・原則として敷地内で確保するものとするが、不足を生じる場合には、別途確保すること。
3 公害対策	1．施工方法、機械施設、作業時間等の制限 2．工事の施工に伴い、第三者に被害を及ぼすことが懸念される場合。	内　容 関係法令を遵守すること。 ・近隣家屋等の　・事前事後の状況の写真を付して記録し　・事後（　　）の調査を行い、万全を期して施工すること。 ・工事概要について住民説明を行うこと。 ・近隣住民からテレビ受信障害及び工事に伴う損害が報告された場合、直ちに監督員等に連絡すると共に、市が行う対応等に協力すること。
4 安全対策	1．交通安全施設等の指定	・一般交通等に支障を及ぼさないよう十分注意して施工すること。 ・交通整理の配置人員及び必要日数として、以下のとおり見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。 交通誘導員Ａ　　人　交替要員　　人　１日あたり合計　　人　配置日数　　日 工事全体合計　　人・日 交通誘導員Ｂ　190　人　交替要員　　人　１日あたり合計　1　人　配置日数　190 日 工事全体合計　190　人・日 警備業法に規定する警備員を配置する場合においては、交通誘導員Ａ、交通誘導員Ｂの定義は以下のとおりとする。 交通誘導員Ａとは、警備業法第２条第４号に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第１条第４号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る１級検定合格警備員又は２級検定合格警備員をいう。また、交通誘導員Ｂとは、警備業法第２条第３項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員Ａ以外の交通の誘導に従事する者をいう。 なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第14条で規定する以外の者とし、安全教育、安全訓練等を十分に行うこと。この場合は交通誘導員Ｂを配置していることとみなす。

明示項目	明　示　事　項	条　件
5 工事用道路	1．一般道路を搬入路として使用する場合。 ・(ｱ) 工事用資機材等の搬入経路，使用期間等に制限がある場合。 ・(ｲ) 搬入路の使用中及び使用後の処置が必要である場合。 ２．仮道路を設置する場合	・運搬路及び周辺敷地並びに工作物に対し損傷を与えないよう予防措置を講じ、また損傷を与えた場合は、速やかに原形に復すること。 ・制限の内容 工事用資機材等運搬による大型車両の出入は、登下校時間を極力避けること。 ・処置の内容 ・幅員　　m　・延長　　m　・切込砕石 厚　　cm　・その他 ・工事終了後の処置
6 仮設備	1．仮囲い等の範囲、構造	・工事範囲をバリケード等により明確にすること。 ・敷地周囲に仮囲いを設置し、その施工範囲、仕様等は図示による。 ・山留めは　　工法とし、その施工条件は図示による。 ・各工事共通の揚重機械として　　を設置しその施工条件は図示による。 ・敷地周辺の　　部分を鉄板敷きにより養生し、その施工範囲、仕様等は図示による。 ・その他労働安全衛生法に基づく仮設備
7 建設副産物の処理	1．建設発生土の処理 ・(ア)他工事等流用 ・(イ)建設技術センター ・(ウ)民間残土受入地 2．分別解体等 3．再資源化施設への搬出 （施設の名称・受入れ費用） （受入れ時間帯） （受入れ条件） 4．最終処理等 5．産業廃棄物処理 6．産業廃棄物の処理に係る税	建設発生土は　　市・町・村　　地内の　　工事現場に運搬（片道運搬距離　　km）するものとする。 建設発生土は　　市・町・村　　地内のセンター事業所に運搬（片道運搬距離　　km）するものとする。 なお、処理費として１m³当り　　円をセンターに支払うこと。 建設発生土は　米子　市・町・村　尾高　地内の　小倉興産尾高残土処分場　に運搬（片道運搬距離　18.3km）するものとする。なお、処理費として１m³当り　1700（税別）　円を　受入事業者　に支払うこと。 民間残土受入地へ搬出する土砂の土質は、各事業所が指定している土質性状同等以上とすること。（土質性状（記載例）砂質土、コーン指数300KN/m²以上） コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。なお、その費用を見込んでいる。 コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材等は、再生資源として、下記の再資源化施設への搬出を見込んでいる。これは、他の施設への搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うこと。 再資源化施設業者と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとにマニフェストを発行するものとする。 なお、再資源化施設への搬出が完了したときは、書面により報告すること。 コンクリート塊　米子 市・町・村　夜見　地内の　(有)大成商事 （運搬距離　3.3 km）、費用１ｔ当たり　1800　円 アスファルト塊　米子 市・町・村　和田　地内の　カネックス （運搬距離　6.8 km）、費用１ｔ当たり　1300　円 建設発生木材　米子 市・町・村　夜見　地内の　(有)大成商事 （運搬距離　3.3km）、費用１ｔ当たり　15000　円 その他（　　）　　市・町・村　　地内の　　 （運搬距離　　km）、費用１m3当たり　　円 ８時～１７時（平日） ア　路盤材、土砂、金属片等が混入していないこと。 イ　コンクリート塊、アスファルト塊の径は500mm以下であること。 ウ　建設発生木材に関しては、泥等の付着がなく、径　　cm以下、長さ　　m以下であること。 エ　２次公害発生の恐れのある物質（廃油等）を含まないこと。 石綿含有建材 については、　松江　市・町・村　新庄　地内の産業廃棄物処理場への搬出（片道運搬距離　23.3　km）を想定し、その費用として１ｔ当り 25,500　円を見込んでいる。これは、他の施設への搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は協議を行うこと。 産業廃棄物処理業者と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとにマニフェストを発行するものとする。 建設工事等から生じる廃棄物の処理については、関係法令を遵守すること。 産業廃棄物の処理に係る税に相当する額を、 83,500 円見込んでいる。

明示項目	明　示　事　項	条　件
8 建設副産物の使用	1．建設発生土の使用 2．再生資源の使用	＿＿＿＿＿＿＿＿工事から〔当該工事運搬・相手方運搬〕の建設発生土を受入れ、使用箇所：＿＿＿＿＿に使用する。 ア　Co雑割材は、＿＿＿＿＿＿＿工事から運搬し、使用箇所：＿＿＿＿＿に使用する。 イ　アスファルト・コンクリート切削殻等は、＿＿＿＿＿＿工事から運搬し、使用箇所：＿＿＿＿に使用する。 ウ　・再生クラッシャーラン〔規格：Rcc-40　〕は、使用箇所：　土間下ほか　に使用する。 ・再生コンクリート砂〔規格：RS-　　〕は、使用箇所：＿＿＿＿＿＿に使用する。 エ　再生加熱アスファルト混合物〔規格：　　〕は、使用箇所：＿＿＿＿＿＿に使用する。 オ　その他再生資材〔資材名：　　〕〔規格：　　〕は、使用箇所：＿＿＿に使用する。
9 支障物件	1．地上，地下等に占用物件等の工事支障物件が存在する場合。	移設・撤去 防護等の方法 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
10 濁処水理	1．排水の工法、排水処理の方法及び排水の放流先等を指定する場合	工法 処理の方法 放流先
11 その他	1．工事実績情報の登録 2．支給材料及び貸与品がある場合 3．工事用電力等を指定する場合 4．景観への配慮 5．そ　の　他	工事請負代金額500万円以上の工事について、受注時は工事契約後10日以内に、登録内容の変更（技術者の配置変更、工期の変更）時は変更があった日から10日以内に、完成時は完成後10日以内に工事実績情報として「工事実績データ」を作成し、監督員に確認を受けた後、（一財）日本建設情報総合センターにインターネット等により登録するとともに、同センター 発行の「登録内容確認書」を監督員に提出するものとする。 品　　名＿＿＿＿＿＿　数　　量＿＿＿＿＿ 品質、規格又は性能＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 引渡場所＿＿＿＿＿＿　引渡時期＿＿＿＿＿ 内　　容＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ア　本工事は、景観法に基づく通知対象行為である。 イ　通知対象行為の場合、施工にあたっては設計図書によるほか、必要に応じて監督員と協議すること。 ・工事の施工に際し、住民説明会を開催する予定であるので協力すること。 ・近隣住民等に対し安全及び騒音振動対策を十分に講じること。 ・契約図書の作成は、落札者において行うこと。 ・アルミニウム製建具の製造所は、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」の評価名簿に記載されている製造所とすること。 ・当該営繕工事の予定価格は、材料及び労務単価を見直した令和4年度営繕工事設計標準単価（令和５年4月改訂版）により算出しております。 ・試運転に伴う本受電後の電力基本料金及び電気工作物保安管理費は、落札者において負担すること。 ・本工事に於いて適用する標準仕様書などの各基準について、改定により最新版が存在する場合は、監督員と協議を行い施工すること。 ・交通誘導員の単価については、警備業法に規定する警備員を配置するものとして、国土交通省による公共工事設計労務単価に警備会社が必要とする諸経費を含む費用を見込んでいる。なお、直接的及び恒常的な雇用関係にある自社の従業員で対応する場合は監督員と協議を行うこと。（単価は公共工事の積算に用いるものであり、下請契約に係る労務単価や雇用関係による労働者への支払い賃金を拘束するものではない。） ・＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿